

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年 8 月24日
【会社名】	ウインテスト株式会社
【英訳名】	Wintest Corp.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 姜 輝
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市西区平沼一丁目 2 番24号
【電話番号】	045-317-7888（代表）
【事務連絡者氏名】	管理本部長 鎌田 文明
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区平沼一丁目 2 番24号
【電話番号】	045-317-7888（代表）
【事務連絡者氏名】	管理本部長 鎌田 文明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号）

1【提出理由】

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 当該事象の発生年月日

2026年8月14日

2. 当該事象の内容

(1) 棚卸資産評価損(売上原価)の計上

当社グループは、当中間連結会計期間において、当社が保有する棚卸資産に関して簿価引き下げを行い、当社が定めた会計上の見積りの方針に従い、合計で124,868千円の棚卸資産評価損(売上原価)を計上いたしました。

当該棚卸資産に関しましては、下期以降出荷される製品にすべて組み込む予定であります。

(2) 為替差益(営業外収益)の計上

当社グループは、当中間連結会計期間において、外国為替相場の変動により、為替差益(営業外収益)13,158千円を営業外収益に計上いたしました。これは主として当社で保有する外貨建資産等を中間期末日為替レートで評価替えしたことにより発生したものであります。

(3) スクラップ売却益(営業外収益)の計上

当社大阪事業所は、当中間連結会計期間において、事業所内清掃を行い、不要なコネクタなどのスクラップを売却いたしました。それにより当社グループは、当中間連結会計期間において、スクラップ売却益(営業外収益)2,653千円を計上いたしました。

(4) 特別損失(減損損失)の計上

当社グループは、当中間連結会計期間において、当社が保有する固定資産について、直近の損益状況に鑑み減損の兆候が認められると判断し「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損会計基準を適用し、合計で25,361千円の減損損失を計上しました。

3. 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生による連結決算における損益の影響額は以下のとおりであります。

2026年12月期第2四半期

棚卸資産評価損(売上原価)	124,868千円
為替差益(営業外収益)	13,158千円
スクラップ売却益(営業外収益)	2,653千円
減損損失(特別損失)	25,361千円

以 上